

2 0 0 6 年 6 月 2 0 日

株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町

2-5 F・Kビル

TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165

URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>URL : <https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 03-3664-5697

感冒関連用薬、泌尿器官用薬など 5 分野 2 2 薬効の一般用医薬品市場調査を実施 催眠鎮静剤、禁煙補助剤などが潜在需要を顕在化し市場を拡大

総合マーケティングビジネスの(株)富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 代表取締役 阿部英雄 03-3664-5811)は、このほど感冒関連用薬、泌尿器官用薬、歯科口腔用薬など一般用医薬品市場 5 分野 2 2 薬効の調査を実施した。その結果を調査報告書「一般用医薬品データブック 2 0 0 6 2」にまとめた。

< 調査結果の概要 >

感冒関連用薬は、総合感冒薬、解熱鎮痛剤を中心に 1 千 3 百億円を超える大きな市場を形成している。P P A 配合製品の販売中止や暖冬により風邪やインフルエンザがあまり流行しなかったこと、鳥インフルエンザ報道により医療機関の利用が増えたことなどから、市場は減少推移となっている。2 0 0 6 年は、規模の大きい総合感冒薬、解熱鎮痛剤はやや持ち直しているものの、花粉飛散量の減少により鼻炎治療剤が大きく落ち込み、市場全体では微減とみられる。

2 0 0 3 年にエスエス製薬の「ドリエル錠」がヒットし、催眠鎮静剤市場がそれまでの 3 0 億円前後から 5 0 億円超へと拡大したことから、その他精神神経用薬市場は 1 0 0 億円を超え、その後は微増推移している。

泌尿器官用薬では、痔疾用薬は横ばいであるが、尿もれ抑制薬が認知を高め規模は小さいながらも拡大したことから、全体では微増推移している。尿失禁は高齢者の三大症状の一つと位置づけられており、尿もれ抑制剤は潜在需要が大きく、Q O L 向上訴求商品として注目度も高い。

歯科口腔用薬は、歯槽膿漏治療剤が拡大しているものの、外用歯痛剤、殺菌塗布剤、口内炎治療剤が減少傾向で全体市場も減少推移となっている。

その他医薬品は、禁煙補助剤が 5 0 億円近い市場を形成したものの、1 0 0 億円を超える規模の殺虫剤が減少しており、他は横ばいのため全体の市場は微減で推移している。

禁煙補助剤 2 0 0 5 年 4 6 億円 2 0 0 6 年見込 4 7 億円

禁煙する人がイライラする / 集中力が散漫になるなどの症状が起き、禁煙が中断することを防ぐために、ニコチン置換療法により禁煙の持続を補助する薬剤である。ニコチン置換療法は、喫煙習慣をニコチン依存と捉え、禁煙補助剤を使用してニコチンへの依存を段階的に改善し禁煙へ導く方法である。喫煙を巡る環境は、健康増進法施行やたばこの増税など厳しく、禁煙を決意する人が増えており、禁煙補助剤を利用する機会も多くなっている。一般用医薬品の禁煙補助剤市場は、武田薬品工業の「ニコレット」により市場が形成された。現在は、発売時の爆発的な売れ行きはないものの、堅調な推移となっている。

禁煙を補助するものとしては、医療用医薬品の禁煙補助剤と、ガムや飴に食用の松葉や松ヤニ等を配合することで結果として喫煙の不快感を増幅させる食品もある。禁煙補助促進市場を構成する一般用医薬品、医療用医薬品、食品(ガム / 飴)では、禁煙補助剤自体の認知が「ニコレット」の登場によって進んだこともあり、一般用医薬品がメインとなっている。「ニコレット」は、2 0 0 4 年の「ミントタイプ」、2 0 0 5 年の「1 2 個タイプ(既存品)」、「クールミントタイプ」の追加により、製品ラインナップを強化し、服用しやすく(噛みやすく)するなどの改善を図り、新規ユーザー獲得に注力している。

現在、一般用医薬品の禁煙補助剤として認可されているのはガム製剤の「ニコレット」のみであるが、近い将来にはパッチ剤タイプの登場が期待され、医療用で「ニコチネル T T S」を販売しているノバルティスファーマや、商品化を表明した大正製薬とグラクソ・スミスクラインの参入が予想される。たばこ増税や各種の喫煙規制強化などもあり、今後も禁煙は拡大するとみられ、禁煙をサポートする一般用医薬品である禁煙補助剤は、将来的には 2 0 0 ~ 3 0 0 億円規模の市場に成長する可能性を秘めている。

催眠鎮静剤 2 0 0 5 年 5 2 億円 2 0 0 6 年見込 5 3 億円

ストレスの多い現代社会では潜在需要の高い領域であるが、通常は医師の指導に基づき医療用医薬品を使用するケースが多い。一般用医薬品では適正使用、誤飲事故防止などのため積極的な広告宣伝活動をしにくいこともあり需要の顕在化が進んでいなかった。また、強い作用を持つ製品を開発しにくいことから差別化が難しく、2 0 0 2

年までは伸び悩んでいた。しかし、2003年に睡眠改善を訴求したエスエス製薬の「ドリエル錠」がヒットし、睡眠改善が注目された。大正製薬や小林製薬も新製品を投入したことにより市場は拡大推移している。2005年も「ドリエル錠」が好調で市場全体も前年比2.6%増、52億円の市場となった。ただし、現状では「ドリエル錠」のみが伸びており、催眠鎮静剤市場全体が活性化したとは必ずしもいえない。

鎮静効果を訴求する先発メーカーと睡眠改善を訴求する後発メーカーに大別される。前者は全薬工業「アロパノール」、救心製薬「ホスロール」などが挙げられ、後者はエスエス製薬「ドリエル錠」、大正製薬「レスティ」などが挙げられる。エスエス製薬は、女性需要の掘り起こしを同社全体の方針として打ち出しており、「ドリエル錠」に関しても、2005年秋以降は戦略ブランドの1つとして女性向け雑誌への広告宣伝活動を強化している。睡眠改善を訴求している大正製薬や小林製薬は、ブランド認知度が低く「ドリエル錠」の独走を許す形となっている。一方、鎮静効果を訴求している全薬工業や救心製薬などは、新規需要開拓に苦戦しているものの一定の固定ユーザーを確保しており、安定した推移となっている。

歯槽膿漏治療剤 2005年 68億円 2006年見込 72億円

薬効分類上は歯科口腔用薬の歯痛・歯槽膿漏薬に含まれ、歯に付着した歯垢が原因となって起こる歯周病(歯肉炎・歯槽膿漏)の治療薬である。歯垢は水分とGINGIBALIS菌などの細菌で構成され、とくにGINGIBALIS菌は歯肉に炎症を起こす歯肉炎・歯槽膿漏の原因菌といわれている。炎症がさらに進むと、歯と歯肉の間に「歯周ポケット」と呼ばれる隙間ができ、この隙間を通してさらにGINGIBALIS菌が増殖し、症状の悪化(歯茎のはれ・口臭など)を招く。

治療薬としては直接患部に浸透させる外用タイプが主流で、一部には内服タイプもある。オーラルケア意識の高まりからユーザーの対象年齢層が拡大しており、2005年には小林製薬が新規参入したこともあり前年比8.5%増の68億円の市場となった。新製品投入が少ない市場であったが、小林製薬に続いて、ライオンが新製品を投入し2006年も市場は拡大している。

医薬部外品との競合が激しく、歯槽膿漏治療剤のシェア上位製品といえども医薬部外品を含めた市場で見るとブランド認知、品目の認知は低い。中高年層の人口構成比が高まり、オーラルケア内容への認識も高まっていることは、歯槽膿漏治療剤にはプラス材料であり、医薬品による治療という認知を高めていくことが重要である。

< 調査対象 >

感冒関連用薬	総合感冒薬、葛根湯液、解熱鎮痛剤、鼻炎治療剤、鎮咳去痰剤、トローチ剤、含嗽剤
その他精神神経用薬	催眠鎮静剤、眠気倦怠防止剤、鎮暈剤、小児五疳薬
泌尿器官用薬	痔疾用薬、尿もれ抑制薬
歯科口腔用薬	歯槽膿漏治療剤、外用歯痛剤、殺菌塗布剤、口内炎治療剤
その他医薬品	殺虫剤、耳疾患用剤、いびき抑制薬(部外品)、抗ヒスタミン剤、OTC検査薬、禁煙補助剤

< 調査方法 >

富士経済専門調査員による対象企業及び関連企業・団体などへの面接取材及び公的統計等による補完

< 調査期間 >

2006年3月～2006年5月

以上

資料タイトル	「一般用医薬品データブック 2006 2」
体 裁	A4判 209頁
価 格	90,000円(税込み94,500円)
調査・編集	富士経済 東京マーケティング本部 第二事業部 TEL:03-3664-5831 (代) FAX:03-3661-9778
発 行 所	株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ URL: http://www.fuji-keizai.co.jp/